

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	631008	事務事業名	光地区消防組合負担金			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	藤井 陽治	評価責任者 (部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	・市民	事業の目的 (意図)	・熊毛地区の安心安全を確保する。
事業の内容 (手段)	・光市、田布施町とともに光地区消防組合を構成し、共同して熊毛地区における常備消防体制を確立する。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
				目標値			
				実績値			
				達成度(%)			

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	232,091	207,074	214,693	229,648	238,169
(予算額)	うち一財	千円	232,091	207,074	214,693	229,648	238,169
(決算額)	直接事業費	千円	232,091	207,074		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	232,091	207,074			
	正職員人件費	千円	148	148		車両等の更新整備に係る負担金の増加	車両等の更新整備に係る負担金の増加
	人工数	人	0.02	0.02	0.04		
	支出コスト	千円	決) 232,239	決) 207,222			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	・災害の複雑多様化や高齢化による救急件数の増加など、消防行政に対する住民の期待が高まっている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 ・光地区消防組合においても、消防施設や消防資機材等の更新時期を迎えており、負担金の増加が見込まれる。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	・光地区消防組合への負担金であり、指標の設定はしない。
	事務事業の方向性	・光地区消防組合と更なる連携強化を図り、負担金の平準化など効果的な事業の遂行を検討し、熊毛地区の消防業務を円滑に運営していく。	評価責任者コメント	・熊毛地区の消防体制を確保するうえで重要な事業である。今後も組合構成市町と共同し、効果的な事業の運営を進めていくこと。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	消防組合との調整	熊毛地区の消防業務を円滑に運営することで、熊毛地区の安心安全を確保する。	熊毛地区の火災、救急等に出場し、災害による被害を軽減した。(平成27年1月～12月:火災7件、救助6件、救急754件)	207,074		0.02	
②				否			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	641008	事務事業名	消防機械器具強化充実事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	藤井 陽治	評価責任者 (部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	・市民	事業の目的 (意図)	・消防車両や消防機械器具等を更新整備することで、消防力の強化充実を図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容 (手段)	・複雑多様化及び大規模化する災害に対応するため、老朽化した消防車両や消防機械器具等を更新整備することにより、消防力の強化充実を図る。 (1) 消防ポンプ自動車1台(北部出張所) (2) 消防活動多目的車1台(北部出張所) (3) 資機材搬送車1台(中央消防署) (4) 消防用ホース 115本		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	更新車両数	計画通りに更新整備した消防車両台数	台	目標値	2.0	3.0	2.0
			実績値	2.0	3.0		
			達成度(%)	100.0%	100.0%		

事業 費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	83,510	54,274	16,503	134,961	96,859
(予算額)	うち一財	千円	47,510	3,485	1,503	9,350	36,589
直接事業費	千円	82,959	52,921		対28年度増減理由	対29年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	48,059	2,772		車両等更新整備に係る増加 (大型化学高所放水車)	車両等更新整備に係る減少
正職員人件費	千円	1,257	1,259				
	人工数	人	0.17	0.17	0.35		
支出コスト	千円	決) 84,216	決) 54,180				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	・発生する災害が複雑多様化及び大規模化しており、より専門的な機能を有した消防機械器具等の整備が必要となっている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・厳しい財政状況のなか、より計画的及び効果的な更新整備を検討していく必要がある。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	・複雑多様化及び大規模化する災害に的確に対応するため、仕様等を十分検討したうえで、財源等を有効に活用しつつ計画的な更新整備を進めていく。	評価責任者コメント	・消防機械器具の更新整備は、市民の安心安全を確保するため必要不可欠な事業である。厳しい財政状況のなか、より計画的及び効果的な更新整備を検討すること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	消防車両及び資機材の更新整備	消防機械器具を計画的に更新整備する。	消防ポンプ自動車1台、消防活動多目的車1台、資機材搬送車1台、ホース115本の更新整備	52,921 否		0.17	
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	641023	事務事業名	消防団機械器具強化充実事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	藤井 陽治	評価責任者 (部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	・市民	事業の目的 (意図)	・消防団車両や消防団機械器具等を更新整備することで、地域防災体制の強化充実を図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容 (手段)	・複雑多様化及び大規模化する災害に対応するため、老朽化した消防団車両や消防団機械器具を更新整備することにより、地域防災体制の強化充実を図る。 (1)小型動力ポンプ付き積載車3台(川崎、富岡、阿田川) (2)消防用ホース 58本		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	更新車両数	計画通りに更新整備した消防団車両台数	台	目標値	2.0	3.0	2.0
実績値				2.0	3.0		
達成度(%)				100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	23,505	32,680	31,782	41,727
うち一財		千円	5,055	4,680	2,682	5,327	4,792
(決算額)	直接事業費	千円	22,675	32,106		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	3,725	6,106			
	正職員人件費	千円	1,035	1,037			
	人工数	人	0.14	0.14	0.35		
	支出コスト	千円	決) 23,710	決) 33,143			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	・平成25年に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行されたことに伴い、消防団の装備等の改善が求められている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・厳しい財政状況のなか、より計画的及び効果的な更新整備を検討していく必要がある。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	・地域の特殊性や配備状況等を十分検討したうえで、計画的な更新整備を進めていく。	評価責任者コメント	・消防団機械器具の更新整備は、地域防災体制の強化充実を図るために必要不可欠な事業である。厳しい財政状況のなか、より計画的及び効果的な消防団機械器具の更新整備を検討すること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	消防団車両及び資機材の更新整備	消防団機械器具を計画的に更新整備する。	小型動力ポンプ付積載車3台、消防用ホース58本の更新整備	32,106		0.14	
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	641030	事務事業名	消防施設整備事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	藤井 陽治	評価責任者 (部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	・市民	事業の目的 (意図)	・消防施設を更新整備することで、消防体制の強化充実に図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容 (手段)	・老朽化した消防庁舎の改修及び消防団機庫を拠点化し整備することで、消防体制の強化充実に図る。 (1)消防本部庁舎空調設備交換改修工事 (2)久米機庫新築工事 (3)今市機庫用地造成工事 (4)高水街区公園プール解体工事		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	消防施設数	計画通りに整備、改修工事を実施した消防施設数	施設	目標値	1.0	2.0	3.0
			実績値	1.0	2.0		
			達成度(%)		100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	32,300	134,520	62,037	30,615
うち一財		千円	2,300	15,020	1,137	6,315	400
(決算額)	直接事業費	千円	24,284	112,736		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	1,710	16,636		消防施設更新整備に係る減額	消防施設更新整備に係る増額
	正職員人件費	千円	4,807	4,813			
	人工数	人	0.65	0.65	0.65		
	支出コスト	千円	決) 29,091	決) 117,549			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	・東日本大震災を契機に、消防庁舎及び消防団機庫は災害時の拠点施設としての機能が求められている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・老朽化した消防団機庫については、集約化も踏まえた更新整備の検討が必要である。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	・消防施設の更新整備については、関係部局と調整を図りながら計画を策定していく。	評価責任者コメント	・消防施設の更新整備については、「まちづくり総合計画」や「公共施設再配置計画」などに計上し、効果的かつ効率的な整備計画を検討していくこと。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	消防施設の整備	消防施設の整備を計画的に行う。	消防本部庁舎空調設備交換改修工事、久米機庫新築工事、今市機庫用地造成工事、高水街区公園プール解体工事	112,736		0.65	
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	631014	事務事業名	消防庁舎管理事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	藤井 陽治	評価責任者 (部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	・市民	事業の目的 (意図)	・消防庁舎を適正に維持管理することで消防力の充実に回り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容 (手段)	・消防庁舎の維持管理に係る設備保守委託、保全修理及び光熱水費等を適正に管理する。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
消防庁舎数	適正に維持管理した消防庁舎数	箇所	箇所	26年度	6.0	6.0	6.0
				27年度	6.0	6.0	
				28年度	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	29,445	31,881	28,388	29,313
うち一財		千円	27,226	29,610	26,305	27,389	26,305
(決算額)	直接事業費	千円	29,771	28,706		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	28,128	27,177			
	正職員人件費	千円	2,736	2,740			
	人工数	人	0.37	0.37	0.43		
	支出コスト	千円	決) 32,507	決) 31,446			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	・老朽化の進んだ庁舎については保全箇所が増えている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・職員に対し冷暖房の適正な管理や節水等を周知徹底することにより、庁舎維持にかかるランニングコストの削減を図っていく必要がある。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	・ランニングコストの更なる削減や効率的な保全修理を行い、適正な事業運営に努めていく。	評価責任者コメント	・消防庁舎を維持管理していく上で、必要不可欠な事業である。消防署所については24時間勤務体制で光熱水費等の課題があるが、職員に対して節電、節水を奨励し、更なるランニングコストの削減を図っていくこと。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
・平成28年度に空調改修工事が終了したことから、消防庁舎的に燃料費の見直しを行い、現状に則した 効率的な運用形態及び予算配分とした。(燃料費636千円の削減)	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	庁舎維持管理業務	消防庁舎に係る維持管理を適正に行う。	庁舎維持に係る光熱水費、東消防署庇裏補修、消防本部庁舎ガス管取替修理など。	27,056	0.23		
				否			
②	庁舎設備保守管理業務	庁舎設備に係る保守管理を適正に行う。	電気工作物保守管理、消防設備保守点検、冷暖房施設保守管理など。	1,650	0.14		
				否			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	631017	事務事業名	消防機械器具管理事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	藤井 陽治	評価責任者 (部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	・市民	事業の目的 (意図)	・消防機械器具を適正に維持管理することで、消防活動の円滑な遂行を図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容 (手段)	・消防車両の法定点検や消防機械器具の維持管理を行う。 ・老朽化した消防資機材を計画的に更新整備する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	消防車両台数	計画通りに車検を受けた消防車両台数	台	目標値	29.0	42.0	28.0
実績値				29.0	42.0		
達成度(%)				100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	18,751	21,646	19,066	20,992
うち一財		千円	18,747	21,642	19,062	20,988	18,996
(決算額)	直接事業費	千円	18,195	21,422		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	18,067	20,720		法定点検台数の増加	法定点検台数の減少
	正職員人件費	千円	3,624	3,628			
	人工数	人	0.49	0.49	0.50		
	支出コスト	千円	決) 21,819	決) 25,050			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	・国が示す安全管理基準に基づく点検整備が求められている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・保有する消防機械器具の経年劣化が進み、修繕数が増えている。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	・消防機械器具を維持管理するうえで重要な事業である。法定点検や定期点検を計画的に行い、効率的な維持管理を継続する。	評価責任者コメント	・消防機械器具の維持管理を適正に行うとともに、職員に対し消防機械器具の取扱い要領の徹底を図り、円滑に事業を遂行すること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
・車両の使用年数と現在の運用状況等を検討し、マイクロバスを廃車とした。(修繕料等180千円の削減)	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	消防機械器具の点検整備	消防機械器具の点検整備及び修繕を適正に管理する。	消防車両42台の車検、延べ134台の法定点検、特殊車両の定期点検など。	19,761 否		0.35	
②	消防機械器具の更新	老朽化した資機材を効果的に更新する。	空気呼吸器用ボンベ4本、ハーネス2体、防火衣3式の更新	1,661 否		0.14	
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	641017	事務事業名	消防団機械器具管理事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	藤井 陽治	評価責任者 (部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	・市民	事業の目的 (意図)	・消防団機械器具を適正に維持管理することで、消防団活動の円滑な遂行を図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容 (手段)	・消防団車両の法定点検や消防団機械器具の維持管理を行う。 ・老朽化した消防団資機材を計画的に更新整備する。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	消防団車両台数	計画通りに車検を受けた消防団車両台数	台	目標値	33.0	44.0	32.0
実績値				33.0	44.0		
達成度(%)				100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	9,769	11,110	9,708	11,834
うち一財		千円	9,769	11,110	9,708	11,834	10,000
(決算額)	直接事業費	千円	8,633	11,667		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	8,633	10,867		法定点検台数の増加	法定点検台数の減少
	正職員人件費	千円	3,845	3,851			
	人工数	人	0.52	0.52	0.40		
	支出コスト	千円	決) 12,478	決) 15,518			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	・平成25年に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行され、消防団に配備する資機材の充実が求められている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・消防団員に対して消防団機械器具の取扱い及び整備要領について、計画的に指導する必要がある。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	・消防団との更なる連携体制を構築し、消防団車両の点検整備を計画的に行い、事業の円滑な運営に努める。	評価責任者コメント	・消防団機械器具の維持管理を適正に行うとともに、消防団員に対し消防団機械器具の取扱い要領の徹底を図り、事業の円滑な運営を継続すること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	消防団機械器具の点検整備	消防団機械器具の点検整備及び修繕を適正に行う。	消防団車両44台の車検、延べ106台の法定点検など。	10,788	否	0.38	
②	消防団機械器具の更新	老朽化した資機材を効果的に更新する。	組立式丸型水槽1個の更新、軽可搬ポンプ一式の配備	879	否	0.14	
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	641029	事務事業名	消防施設管理事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	藤井 陽治	評価責任者 (部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	・市民	事業の目的 (意図)	・消防団機庫を適正に維持管理することで、地域防災体制の充実を図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容 (手段)	・消防団機庫の維持管理に係る保全修理及び光熱水費等を適正に管理する。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
消防団機庫数	消防団機庫	適正に維持管理した消防団機庫	箇所	26年度	75.0	75.0	74.0
				27年度	75.0	75.0	
				28年度	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	1,143	926	1,106	1,140
うち一財		千円	1,143	926	1,106	1,140	1,106
(決算額)	直接事業費	千円	1,119	1,911		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	1,119	1,911			
	正職員人件費	千円	1,849	1,851			
	人工数	人	0.25	0.25	0.22		
	支出コスト	千円	決) 2,968	決) 3,762			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	・経年劣化による保全箇所の増加や機庫機能の改善が求められている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・経年劣化により、修繕が必要な消防団機庫が増えてきている。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	・効率的な維持管理を検討し、適正な事業の運営に努める。	評価責任者コメント	・消防団機庫を維持管理するうえで重要な事業である。今後も計画的な維持管理を継続していくこと。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
・業務の見直しを行い、ペーパーレス化を推進した。 (印刷製本費6千円の削減)	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	消防団機庫の維持管理及び修繕	消防団機庫を適正に管理するとともに、計画的な修繕を行う。	古泉機庫待機室雨漏り修理、大道理機庫車庫照明取替修理、四熊機庫仮設トイレ設置	1,911 否	0.25		
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	015505	事務事業名	常備消防費一般事務			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者(課長)	藤井 陽治	評価責任者(部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	・市民	事業の目的(意図)	・消防本部の運営に係る一般事務を適正に執行することで、消防業務の円滑な遂行を図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容(手段)	・消防職員の健康管理及び安全衛生の向上を図るため産業医を選任し、定期健康診断、特定業務(深夜業務)従事者健康診断及び各種予防接種を実施する。 ・全国消防長会、山口県消防長会に参画し、事業の研究及び検討を行う。 ・消防職員採用試験を実施し、優れた人材を確保する。 ・消防業務(一般事務)に必要な物品の調達を予算の範囲内で適正に行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					職員数	貸与品を適正に貸与できた職員数	人
				実績値	199.0	199.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	16,335	14,946	15,002	14,486
うち一財		千円	16,334	14,945	15,001	14,485	15,734
(決算額)	直接事業費	千円	15,755	14,367		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	15,755	14,367			
	正職員人件費	千円	6,951	6,961			
	人工数	人	0.94	0.94	1.10		
	支出コスト	千円	決) 22,706	決) 21,328			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	・団塊の世代の大量退職により、職員の年齢比率が若年化している。 ・複雑多様化する災害に対応するため、貸与品目が増加し、また、規格が高機能化している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・消防業務の複雑多様化に伴い、優れた人材を確保する必要がある。 ・厳しい財政状況のなか事業の効率化を図り、適正な予算執行を行う必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	・消防業務を円滑に遂行するためには、消防本部の運営事務を適正に管理していく必要がある。厳しい財政状況のなか、更なる効率化を図り、適正な予算執行を継続していく。	評価責任者コメント	・今後も、消防本部の運営事務を適正に管理するとともに、消防職員採用試験及び昇任試験を実施することにより、優れた人材の確保及び職員の資質の向上を図り、消防業務を円滑に遂行していく必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
・事業の見直しを行い、非常食用食料や職員救急用薬品を削減した。(食糧費3千円、医薬材料費3千円の削減) ・災害時非番員招集用駐車場の見直しを行い、駐車場使用料を削減した。(駐車場使用料756千円の削減)	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	消防職員管理業務	消防職員の健康管理及び安全衛生に必要な業務を適正に実施する。	産業医による特定業務従事者健康診断、感染症予防接種(B型肝炎、破傷風)	964	否	0.46	
②	消防長会事務事業	消防長会の事業活動を推進し、消防防災体制の充実強化を図る。	全国消防長会役員会2回、中国消防長会役員会2回、中国消防長会総務担当者会議1回に出席し、各事業における情報共有を図った。	578	否	0.18	
③	試験関係業務	職員の資質の向上を図るとともに、職員採用試験で優れた人材を確保する。	消防職員昇任試験(34人受験)、消防職員採用試験(6人採用)	243	否	0.16	
④	消防本部運営管理業務	消防本部の運営に必要な経費の管理を適正に行う。	貸与品の更新、仮眠室寝具借上、事務用品・非常食の管理など	12,582	否	0.14	
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	15508	事務事業名	非常備消防一般事務			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	藤井 陽治	評価責任者 (部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	・市民	事業の目的 (意図)	・消防団の運営に係る一般事務を適正に執行することで、消防団業務の円滑な遂行を図り、地域防災体制の強化充実を図る。
事業の内容 (手段)	・消防団の人事、庶務及び表彰に係る事務 ・消防団員の報酬及び費用弁償に係る事務 ・消防団の充実強化に関すること。 ・出初式に関すること。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	消防団員数	表彰を受賞した消防団員数	人	目標値	29.0	35.0	32.0
			実績値	26.0	35.0		
			達成度(%)	89.7%	100.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	131,233	133,880	136,320	137,800
うち一財		千円	95,035	97,690	98,292	98,310	98,292
(決算額)	直接事業費	千円	113,876	115,444		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	90,216	92,280			
	正職員人件費	千円	9,761	9,775			
	人工数	人	1.32	1.32	1.64		
	支出コスト	千円	決) 123,637	決) 125,219			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	・消防団員のサラリーマン化が進んでいる。 ・平成25年に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行され、消防団の充実強化の推進が求められている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・地域防災体制の強化充実を図るため、消防団員の加入促進が喫緊の課題であるが、少子高齢化や就業構造の変化により、消防団員の確保に苦慮している。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	・地域防災の中核となる消防団の充実強化のため、「新入団員の確保」、「消防団の装備の充実」、「消防団員の処遇の改善」に向け、有効的な事業展開を継続する。	評価責任者コメント	・地域防災の中核となる消防団を運営する上で重要な事業である。今後も事務の効率化に努め、消防団の活性化に向けた取り組みを継続すること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など) ・非常用食料の配備数を検討し、更新量を削減した。 (食糧費170千円の削減)	備考
--	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	消防団員の人事に関する業務	新入団員を確保するとともに、円滑な消防団活動を推進する。	新入団員39名確保、消防団員の各種表彰35名	181		0.20	
				否			
②	消防団員の報酬等給付業務	消防団員の年報酬及び費用弁償の給付業務を適正に行う。	消防団員1,044名の年報酬と費用弁償を適正に給付した。	102,684		0.27	
				否			
③	出初式関連業務	市民に対し消防に対する認識と信頼を深め、防災思想を普及啓発する。	式典を行い消防団員の士気高揚を図り、分列行進や放水展示で市民の観覧を受けた。	1,050		0.39	
				否			
④	消防団の強化充実業務	消防団員に対し安全装備品を配備し、地域防災体制の強化充実を図る。	年次計画に基づき、消防団員350名分の安全装備品(耐切削性手袋、防塵ゴーグル、防塵マスク)を配備した。	7,036		0.26	
				否			
⑤	消防団運営業務	消防団の運営に係る経費を適正に管理し、円滑な消防団活動を推進する。	消防団機庫の光熱水費など	4,493		0.20	
				否			

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	631011	事務事業名	消防職員研修養成事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	藤井 陽治	評価責任者 (部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	・市民	事業の目的 (意図)	・消防職員が幅広い知識及び技術を習得することで、消防活動の質の向上を図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容 (手段)	・県消防学校及び消防大学校等に入校し、各種教育課程を修了する。 ・各種資格取得講習を受講し、幅広い技能資格を習得する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	消防職員数	県消防学校及び消防大学校に入校した職員数	人	目標値	18.0	17.0	16.0
				実績値	20.0	17.0	
				達成度(%)	111.1%	100.0%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	5,106	4,119	6,890	6,339	6,890
	(予算額) うち一財	千円	5,106	4,119	6,890	6,051	6,890
	直接事業費	千円	4,765	3,546		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	4,765	3,546			
	正職員人件費	千円	1,331	1,333			
	人工数	人	0.18	0.18	0.24		
支出コスト	千円	決) 6,096	決) 4,879				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	・団塊の世代が大量退職し、学校教育修了者や各種技能資格取得職員が減少している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・若手職員への学校教育や資格取得を進めているが、勤務体制や確保人員の関係から、多くの職員を研修派遣することが難しい。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)		評価責任者コメント
	事務事業の方向性	・勤務体制や確保人員の関係から、多くの職員を研修派遣することが難しいため、今後も教育研修計画に基づき、効果的な職員教育を継続する。		

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	消防職員教育事業	消防学校教育修了者17名、各種技能資格取得者18名	消防大学校1名、県消防学校16名修了、各種技能資格18名取得	3,546		0.18	
②				否			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	641014	事務事業名	消防団員研修養成事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	藤井 陽治	評価責任者 (部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	・市民	事業の目的 (意図)	・消防団員が幅広い知識及び技術を習得することで、地域防災体制の強化 充実を図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容 (手段)	・県消防学校等に入校し、各種教育課程を修了する。 ・消防本部が実施する新入団員、幹部研修等を受講し、幅広い知識及び技術を習得する。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
消防団員数	消防学校等の教育を受講した 消防団員数	人	目標値	78.0	112.0	74.0	
			実績値	55.0	86.0		
			達成度(%)	70.5%	76.8%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	258	336	431	318
うち一財		千円	258	336	431	318	431
(決算額)	直接事業費	千円	91	141		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	91	141			
	正職員人件費	千円	1,479	1,481			
	人工数	人	0.20	0.20	0.25		
	支出コスト	千円	決) 1,570	決) 1,622			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	東日本大震災後、消防団員に対する地域の期待がより一層高まっている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・消防団員サラリーマン化が進み、消防学校への派遣が難しい。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由 ・消防団員への教育は、消防団の充実強化を図るうえで重要な事業であり、平成27年度は消防学校の教育が一部土日開催されたことで、入校者数が増加傾向にある。今後も受講しやすい教育環境の整備を推進し、円滑な事業の運営に努めたい。
	事務事業の方向性	・地域防災の要である消防団員が、消防技術及び知識を習得することは重要である。今後も関係機関等と調整し、消防団員が受講しやすい教育環境の整備を進めていく必要がある。	評価責任者コメント ・消防団の充実強化を図るうえで、消防団員への教育は必要不可欠である。サラリーマン化が進むなか、受講しやすい教育環境の整備を進め、効果的な事業を推進すること。	

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	消防団員教育事業	消防学校等教育等への入校、新入団教育の実施	消防学校等教育12名、新入団教育74名修了	141		0.20	
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	641020	事務事業名	消防団員等公務災害補償等共済基金事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	藤井 陽治	評価責任者 (部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	・市民	事業の目的 (意図)	・消防団員の公務災害補償及び退職報償金に係る事務を適正に執行することで、消防団員の福利厚生を向上させ、地域防災体制の強化充実を図る。
事業の内容 (手段)	・消防団員等公務災害補償等共済基金に加入し、公務災害が発生した場合の損害補償に係る手続き、及び消防団員が退職した際の退職報償金に係る手続きを行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度	
					目標値			
					実績値			
					達成度(%)			

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	25,506	25,506	25,506	25,490	25,506
(予算額)	うち一財	千円	25,506	25,506	25,506	25,490	25,506
(決算額)	直接事業費	千円	25,506	25,506		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	25,506	25,506			
	正職員人件費	千円	1,479	1,481			
	人工数	人	0.20	0.20	0.20		
	支出コスト	千円	決) 26,985	決) 26,987			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	近年は発生する災害が複雑多様化、大規模化し、全国的に消防団員の公務災害発生件数が増加している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 ・消防団員の公務災害を防止するため、日頃から危険予知訓練や安全管理講習会など開催していく必要がある。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	・消防団員等公務災害補償等共済基金への負担金であり、指標の設定はしない。
	事務事業の方向性	・消防団員の公務災害補償及び退職報償金の支払いは、消防組織法に基づいた重要な事業である。今後も適正な事務手続を遂行し、活力ある消防団活動を担保する。	評価責任者コメント	・本事業は消防組織法に基づく重要な事業である。今後も、適正な事業の遂行に努めること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	公務災害補償手続業務	消防団員の公務災害を防止する。	消防団員1名の公務災害補償手続を実施した。	8,502	否	0.05	
②	退職報償金支払業務	退職報償金の支払事務を適正に遂行する。	退職団員63名の退職報償金支払手続を実施した。	17,004	否	0.15	
③							
④							
⑤							